

## 第9回旅を楽しむ会旅行 離島シリーズ③

### 2018初夏の花咲く佐渡へ

#### 1日目 (6月4日快晴)

20人の参加で2泊3日の佐渡旅行は、東京駅からスタートしました。上越新幹線とジェットフォイルを乗り継ぎ、佐渡両津港から旅行の目玉である大野亀のトビシマカンゾウの群生地へバスで向かいます。最も気掛かりな天気と開花時期でしたが、参加者全員の日頃の行いがよほど良いのでしょうか、カンゾウの真黄色い花を一面に敷き詰めた大野亀岬と青い空と美しい日本海の素晴らしい景色を心行くまで満喫できました。次にバスで向か



ったのは尖閣湾揚島遊園で、透明度の高い海中をグラス底ボートからの眺めを楽しみました。宿泊先のホテル大佐渡からは日本海に沈む夕日を楽しみ、アワビの夕食に舌鼓を打ち番外編のカラオケありでたっぷり就寝。

#### 2日目 (6月5日晴れ)



9:00にホテルを出発。何処にでもある夫婦岩とお塩の実演販売を見学。お塩を説明するオジサンの巧みな話術に嵌り、たくさんのお塩を購入しました。次は何処にもない金山から出る二酸化鉄を含む陶土を高温で焼く「無名異焼」の工房を訪れ、今度はオバサンの話術に引込まれて再び佐渡経済の発展に寄与しました。40分のバスに揺られ佐渡の南端に移動し、お姉さん?の櫓で漕ぐ「たらい舟」に二人一組で乗り込み、湾内一周。矢島、

経島の散策後、近くの江戸時代後期から明治に栄えた北前船寄港地の宿根木地区、狭い通路の巧みに保存された街並みを歩き、一時のタイムスリップ感を味わいました。中心にある三角家ではJRのCMポスターの吉永小百合と並び美を競ってインスタグラム画像に登場しました。

古い町並みの中にあるレストランで本当においしいサザエのパスタで腹ごしらえをした後、一攫千金?の砂金採りです。佐渡最古の「西三川砂金山」の跡地に建つ佐渡ゴールドパークでは、一心不乱に砂場の中の数ミリの砂金探しに出発時間を延ばしてまで挑戦。

結局は1,500円で記念に数個の小さな砂金を入れてロケットやキーホルダーを作る店の術中に嵌ってしまいました。今日の最後の見学は尾畑酒造です。尾畑酒造は毎年、連合三田会にも参加する塾員経営の造り酒屋です。63年卒の美しい専務の歓迎の挨拶に始まり、各自利き酒





を目一杯した後、再び佐渡経済の発展に寄与し、帰り際には、専務よりフランスで金賞を獲得した真野鶴をお土産に頂き、夕食時に皆で乾杯をし、その芳醇で、スッキリした味に酔いしれました。2日目の夕食のサザエのステーキは新鮮で柔らかく、肝も最高の味でした。また、カラオケ大会でも大いに盛り上がり、秋春連覇の野球部の活躍に全員肩を組んで合唱、就寝。

### 3日目（6月6日曇り）

天気は曇りですが、雨は降る気配なし。9時過ぎにホテルを出発し、向かうのは400年の歴史を伝える史跡佐渡金山です。夏でも肌寒い坑道に入り、リアルな人形鉦夫達が当時の金発掘作業を音声と動作で再現しています。徳川300年の財政を支えた佐渡金山で働く人々の生活に思いを馳せたひと時でした。次に向かったのは佐渡最古の茅葺能舞台のある大膳神社と新潟唯一の五重塔のある妙宣寺です。その昔、佐渡に流された高貴な方々が残した文化が今も脈々と受け継がれていることに感激しました。昼食は佐渡の歴史や伝説が等身大ロボット人形で再現されている佐渡歴史伝説館で郷土料理を頂きました。順徳上皇、日蓮、世阿弥の精巧なロボットが動き、話し、不思議な空間を作り出していました。午後からはトキの森



の公園に移動、トキの親子にご対面です。トキふれあいプラザでトキ色の親と1歳の子供が元気に歩いています。無事に育ち、自由に空を飛び回り、沢山の子供達に恵まれることを祈りつつ、公園を後にして、高速フェリーで新潟に戻り新幹線で東京に戻りました。旅を楽しむ会全員の一条乱れぬ行動やひとりひとりの協力的で思いやりのある態度が本当に素晴らしい旅を実現させたと感じさせた2泊3日の楽しい旅でした。



旅を楽しむ会の旅行は、去年の隠岐の島、奄美諸島そして今年の佐渡島と島シリーズもいよいよ佳境に入って来ました。

次回の行く先を心待ちにしています。